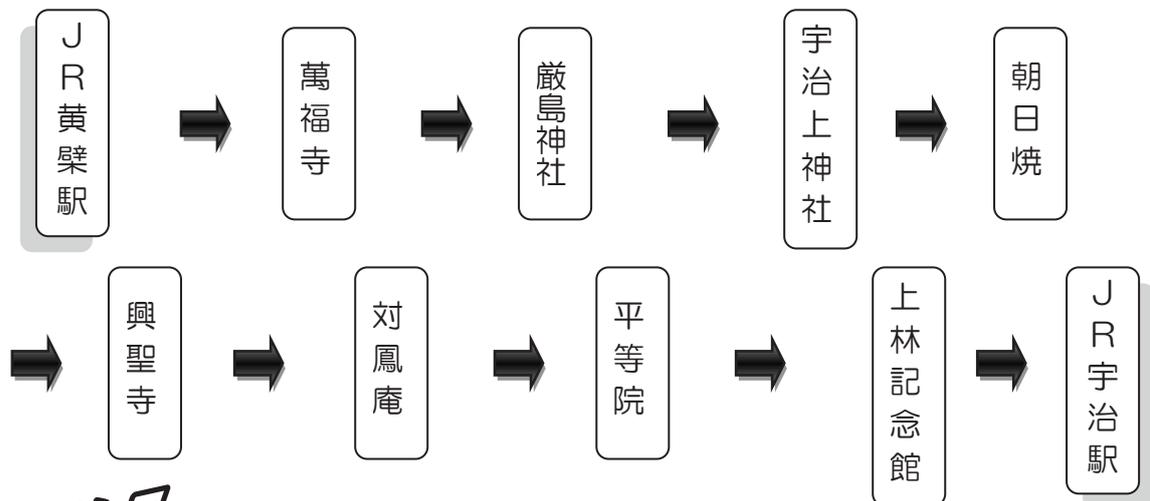


おすすめポイント

春風薫り、茶ノ木が新芽を吹き出すころに、萬福寺総門前の宇治茶発祥記念碑を起点として、お茶文化に関係する興聖寺、上林記念館など、いくつかのスポットをめぐりながら、今日の宇治茶文化の発展に寄与してきた先人たちの足跡を偲びます。



ここに注目



●駒の蹄影園の碑（萬福寺総門前）

鎌倉時代、明恵上人が村人に茶樹の植え方を教えたといわれる記念碑。「都賀山の尾上の茶の木分植えて あとそ生べし駒の蹄影」と刻まれている。

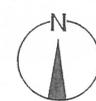
1926（大正15）年宇治郡茶業組合により建立。



●上林記念館長屋門

今に残る江戸時代の茶師の名門、上林家の長屋門。「ずいずいずっころばし〜」のお茶壺道中が今にも出てきそうな堂々たる佇まい。

館内にはお茶の資料館がある。



コース順路



夏がお
すすめ

No.6 宇治川へ

緑と自然と歴史にふれる

自然

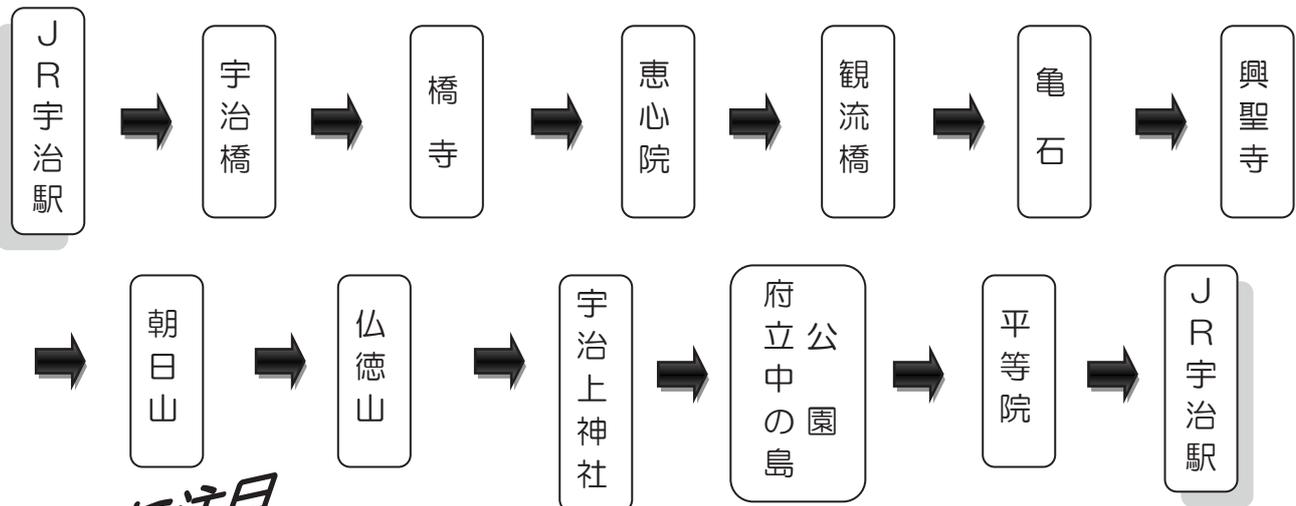
歴史

世界遺産

おすすめポイント

宇治川岸辺の緑陰の多く残る自然的景観の中をゆっくりめぐり、同時に宇治上神社・平等院の世界文化遺産にも触れ、貴重な文化財を学習する夏休みファミリー向けに設定したコースです。

夏の暑さから開放されたひと時を、緑陰の中で楽しんでみませんか。



ここに注目



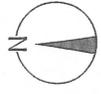
●対岸から亀石方面

世界遺産の宇治上神社から仏徳山の麓をまわり、宇治発電所からの激しい流れにかかる観流橋を渡る。伝承のある川中の亀石を下に見て朝日山へ。流れに沿って歩く絶好のロケーション。



●宇治上神社鳥居からの全景

宇治上神社へは石畳のゆるやかな参道が続く。菟道稚郎子が桐原日桁宮を営まれた所とあって「ひら離宮」の額が懸かる鳥居をくぐると、仏徳山の懐にいだかれるように世界遺産宇治上神社が佇む。



志津川緑帯

志津川

志津川神社の園

天ヶ瀬森林公園

鳳凰湖

天ヶ瀬ダム

新金山

志津川橋の街

第一志津川橋

山吹橋

天ヶ瀬停留所

志津川谷橋

トリス

白川橋

鳳凰湖緑帯

もみぢ

白川

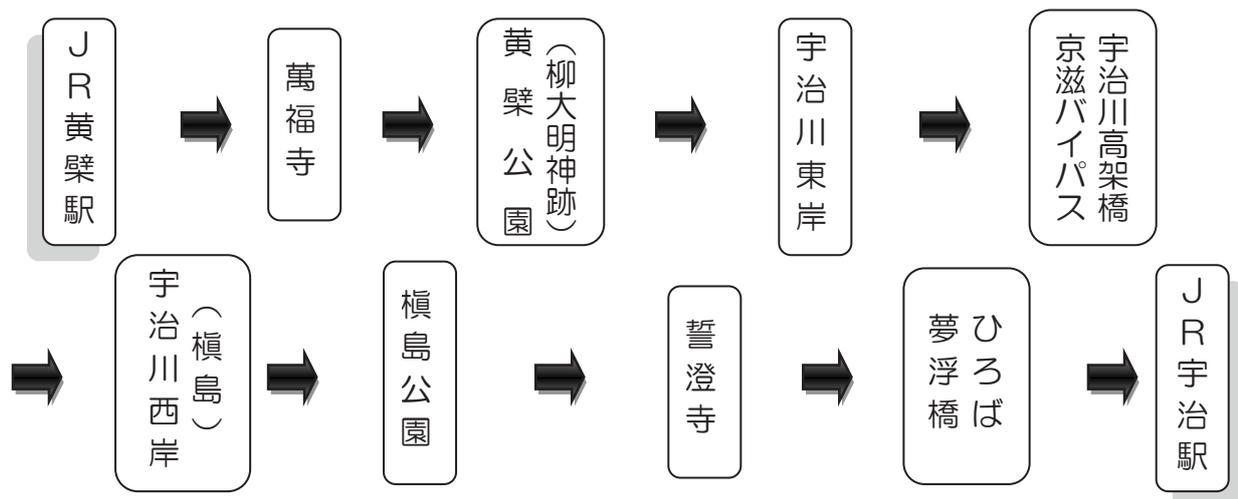


No.7 宇治川岸辺ウォーク

室町幕府終焉の地をめぐる

おすすめポイント

歴史のいきづくまち宇治の中世から近世への流れの過程での合戦で、織田信長軍に包囲された槇島城、その落城とともに室町幕府最後の将軍足利義昭で終焉した足跡をたどります。信長軍が敷いた陣地といわれる高台にある黄檗公園一帯からの遠望は合戦当時が偲ばれます。そして、途中の橋上から、山なみ、町なみ、田園風景など宇治川を挟んでの変化のある遠望の自然的景観も同時に楽しめるコースです。



ここに注目



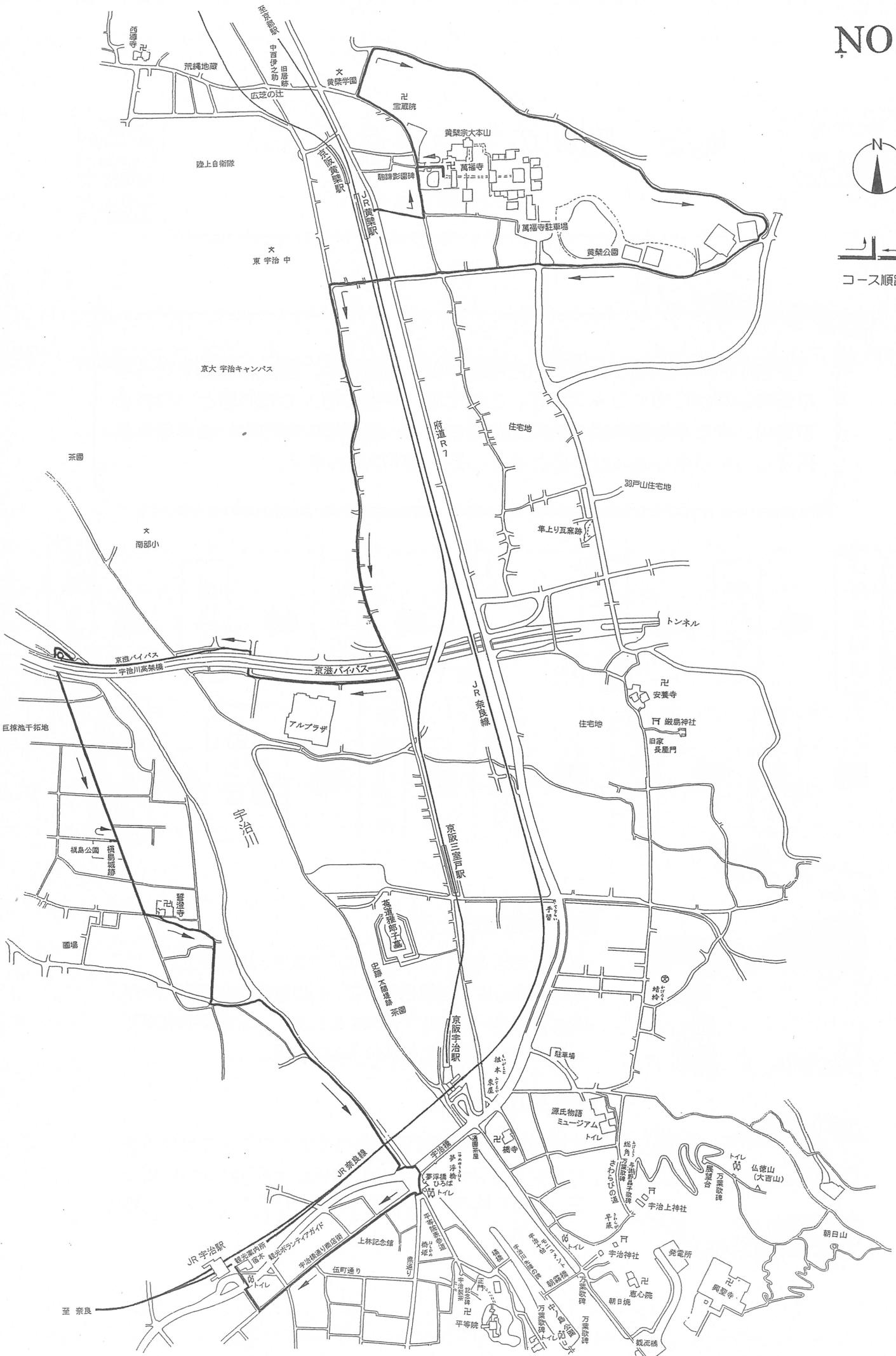
● 槇島城跡石碑

足利義昭にとって、信長に敗れ、室町幕府終焉の地となったところである。『山城南勝志』に「今、城旧跡、茶園と為る、方二町ばかり、一段高地也」と記されその遺跡は明瞭ではないが、かつては宇治川が巨椋池にそそぎ込む風光明媚なところであった。



● 高台より槇島の遠望

1573(元龜4)年7月17日このあたりの小高い山に登り、信長は眼下に横たわる宇治川とその中州にある槇島城をすどい眼差しで見つめていたのであろうか。翌18日七万余騎と伝えられる軍勢で城に総攻撃をかけるのである。



コース順路

秋がおすすめ

No. 8 晩秋の宇治川近辺沿い 里山を歩く

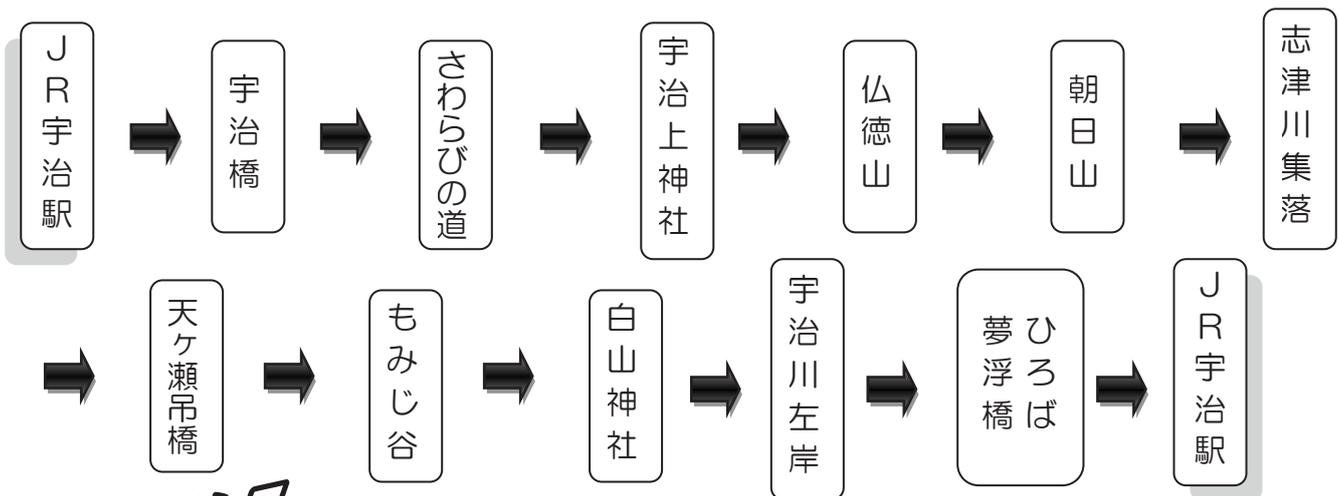
自然

歴史

里山

おすすめポイント

宇治川の川霧に煙り、色づいた晩秋の山々の景観や、里山の風景をたっぷり満喫しながら歩くコースです。ここでは、平家の落人の隠れ里といわれる志津川、また平等院の奥の院にあたる白川の人里周辺の移り変わる家なみ風景をじっくり楽しみながらたどるところに見所があります。



ここに注目



●朝霧橋から上流

はるか琵琶湖から流れ来るゆたかな水、川霧が立ちこめ墨絵を見るような景色の中に、赤や黄色の紅葉の山々が迫ってくる。宇治川ラインはどこまでもどこまでも果てしなく美しい彩りに包まれるのである。



●志津川の里

志津川という名称は清水流れる川でシミズのミが外されてシズカワとなったといわれる。その川の流れに寄り添うように展開し、盆地状にゆったり広がった小さな集落である。



いつ
でも

No.9 宇治の万葉歌碑と 世界遺産をめぐるウォーク

自然 歴史

万葉歌碑

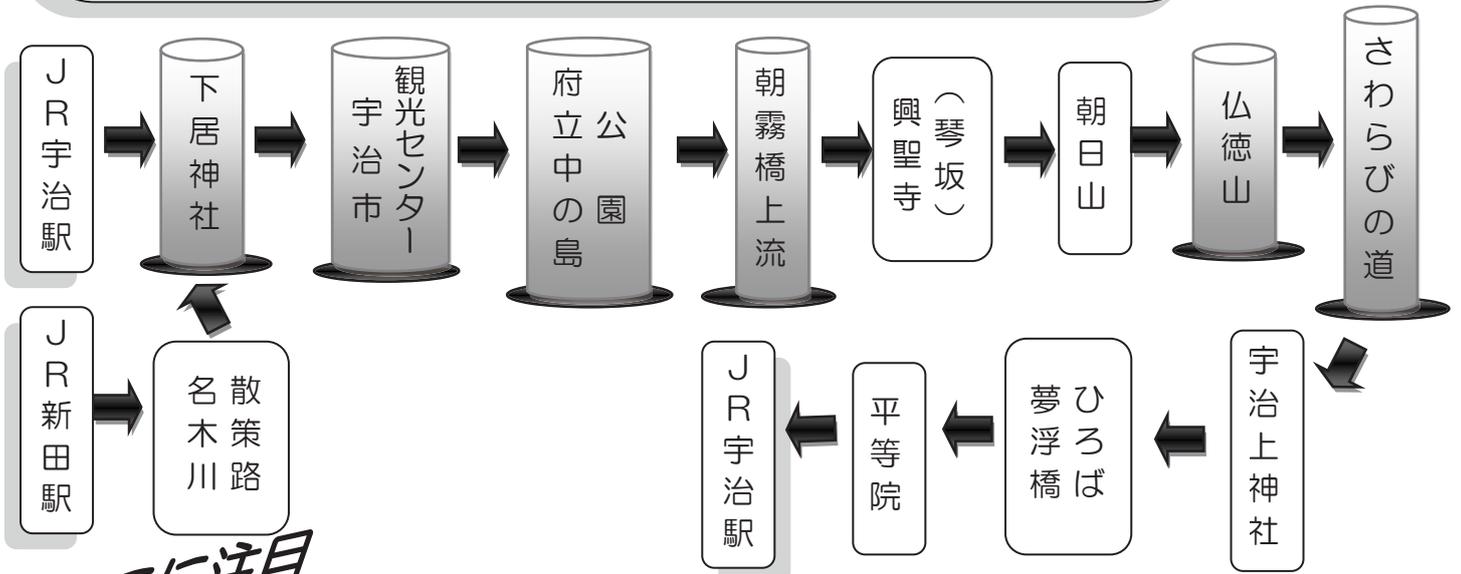
世界遺産

おすすめポイント

宇治の地は古代より宇治川を挟んで水陸交通の要衝として、乗り物、人馬の往来があり、その中で自然的景観や人々の生活情感を詠んだ歌が数多く万葉集の中に収められています。宇治市内に点在する万葉歌碑の内、六基についての解説板を見ながら万葉集に親んでもらうコースです。また同時に、宇治の世界文化遺産や貴重な文化財にも触れて、いにしえに思いをはせてみてはいかがでしょうか。



万葉歌碑のある
ポイントです



ここに注目



●平等院案内板

1994（平成6）年京都、大津市の15社寺とともに「古都京都の文化財」として世界文化遺産に登録された。平安貴族の佇まいを偲ばせる鳳凰堂、浄土庭園が宇治市民の誇りとして未永く守り継がれてほしいと願わずにはいられない。

●中の島万葉歌碑



当代随一の宮廷歌人といわれた柿本人麻呂の万葉歌碑。古代最大の皇位をめぐる壬申の乱で敗れた側の近江方の兵士のことを偲んで詠んだ歌であろう。万葉集に収められた歌の中でもフアンの多い人麻呂の代表作である。

